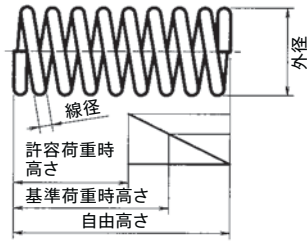


仕様図



C 規格

全 230 種 本カタログ 8 ページより

(社)日本ばね工業会制定の規格を基に、当社独自の管理項目(基準荷重)を追加し配列した規格です。

P 規格

全 212 種 本カタログ 15 ページより

DC 規格

全 525 種 本カタログ 22 ページより

欧州において普及しているドイツの規格(DIN2098)圧縮ばねを参考に、当社独自の管理項目(基準荷重)を追加し、配列した規格です。

規格及びばね仕様

材質

規格のシリーズや、サイズによって使用材料が異なります。

シリーズ名称	線径	鋼種
C 規格	全サイズ	SUS304WPB (ばね用ステンレス鋼線)
	φ 0.5mm 未満	SUS304WPB (ばね用ステンレス鋼線)
DC 規格	φ 0.5 ~ 5.0mm 未満	SWP-B (ピアノ線)
	φ 5.0mm 以上	SWP-A (ピアノ線) もしくは SWO-B (オイルテンパー線)
P 規格	φ 5.0mm 未満	SWP-B (ピアノ線)
	φ 5.0mm 以上	SWP-A (ピアノ線) もしくは SWO-B (オイルテンパー線)

ばね特性及び寸法の許容差

ばね特性

ウルトラスプリング圧縮コイルばねシリーズは、許容時と基準時の二点間で荷重管理することにより、精度の高い品質管理を行っています。

項目	許容差
基準荷重	± 10%
許容荷重	± 10% ^{※1}

※1 縦横比の大きい = ロングストロークな一部ばねについては、基準荷重のみの管理になります。

許容荷重について	許容荷重を超えてのご使用はおやめください。許容荷重は、その時の応力が JIS B 2704 に定められた圧縮ばね許容ねじり応力の 80% になるよう設定しています。
基準荷重について	当社独自に定めた値で許容荷重のおよそ 60% を基準荷重としています。選定の目安としてご活用ください。

自由高さ

荷重重視により、参考値です。

コイル外径

コイル径は外径基準で管理しています。許容差は JIS2 級にもとづいています。

	等級	2 級
D/d ^{※2}	4 以上 8 以下	± 1.5% 最小 ± 0.2mm ^{※3}
	8 を超え 15 以下	± 2.0% 最小 ± 0.3mm
	15 を超え 22 以下	± 3.0% 最小 ± 0.5mm

※2 D/d = ばね指数。
コイル平均径と線径の比です。

※3 最小値について、左表の % で算出された値が右の最小値を下回る場合は、最小値が優先されます。

総巻数

荷重重視により、参考値です。

巻方向

右巻き

端末形状

クローズドエンド
研削処理の有無については、以下の通りです。規格や線径サイズによって異なります。

シリーズ名称	研削の有無
C 規格	線径 φ 0.8mm 未満、研削無し ^{※4}
	線径 φ 0.8mm 以上、研削有り
DC 規格	線径 φ 0.5mm 未満、研削無し
	線径 φ 0.5mm 以上、研削有り
P 規格	全点研削有り

▼クローズドエンド 研削無し

▼クローズドエンド 研削有り



※4 製品番号 C228 のみ、線径 φ 0.7mm ですが研削有りです。

※製造ロットにより外観色・光沢に若干差を生じる場合がございますが、テンパー(低温焼鈍)の影響によるものではばね特性に影響はございません。

※仕様は予告無く変更する場合がございます。